

第 162 回日本獣医学会学術集会 日本比較薬理・毒性学会拡大評議委員会 議事録 (案)

開催日 令和元年 9 月 10 日 14:00 ~ 15:00

場所：つくば国際会議場（つくば市） 第 7 会場（中会議室 202A）

議長：太田利男会長（鳥取大学）

1. 出席者：乙黒兼一、江口遼太（北大薬理）、石塚真由美、中川翔太、池中良徳（北大毒性）、石井利明、室井喜景（帯広畜産大薬理）、久保田彰、川合佑典（帯広畜産大毒性）、山脇英之、岡田宗善（北里大薬理）、鎌田亮（北里大毒性）、堀正敏（東京大薬理）、村田幸久（東京大放射線）、金田剛治、神田秀憲（日獣大薬理）、梶典幸（麻布大薬理）、山崎純、斎藤光芳（日大薬理）、海野年弘、松山勇人（岐阜大薬理）、竹内正吉、東泰孝（大阪府大薬理）、西村和彦（大阪府大毒性）、太田利男、高橋賢次（鳥取大薬理）、水野理介、向田昌司（岡山理科大薬理）、園田紘子（宮崎大薬理）
(順不同、敬称略) 29 名

2. 議事録

会議の冒頭に麻布大薬理の白井明志先生がご逝去されたことが報告され、黙祷を捧げた。

- 1) 第 161 回日本獣医学会学術集会 日本比較薬理・毒性学会拡大評議委員会議事録が承認された。
- 2) 現日本比較薬理・毒性学会会長の任期満了につき、太田利男会長より池田正浩先生が次期会長に指名され、承認された。
- 3) 全国大学獣医学関連代表者協議会（第 110 回、第 111 回）、国公立大学獣医学協議会（第 85 回、第 86 回）、私立大学獣医学協議会（春・秋の 2 回分）の協議内容の報告
 - i) 国公立大学獣医学協議会での各大学の現状について報告があった
 - ii) コアカリ改定に関して：フォローアップ調査および調査研究に関して文科省より予算が認められた。
 - iii) 全国共同実習事業への参加者人数が報告された。文科省の 9 年間の予算は終了するが、今後は獣医学教育支援機構に事務局を置いて、事業を続ける。
 - iv) VetCBT 本試験の受験者数や合格率が報告された。なお、私立大学獣医学協議会からの報告はなかった。
- 4) 収支決算と決算報告並びに予算計画が承認された。
- 5) 第 163 回日本獣医学会学術集会（2020 年 9 月 8 日～10 日、司宰：山口大）における企画シンポジウムの開催について現在準備を進めていることが報告された。
- 6) 春期分科会企画に関して、今後の運営方針が決定した。開催時期：センター試験終了後から 1 月末、参加者：大学院生および教員が主体、開催場所：交通の便の良い東京・神奈川の大学
- 7) 第 2 回日本比較薬理学毒性学会研究会（2020 年 1 月 25 日）の開催に関して幹事の水野理介先生より企画説明があった。
- 8) 日本比較薬理学毒性学会所属の評議委員推薦についてお願いがあった。
- 9) コアカリ教科書の状況について報告があった。
薬理・毒性学：改定作業中、臨床薬理学：コアカリレベルでの調整中

- 10) 実習書の改定に関して：ワーキンググループを立ち上げ改定作業を行うが、今年度は少量の増刷で対応する。
- 11) 新任・昇格教員の紹介（平成 30 年 9 月意向の異動・着任について）
北大（薬理）、江口遼太助教が着任。東大（薬理）から麻布大（薬理）に梶典幸助教が移動。鹿児島大の白石光也准教授が生理学へ移動し教授に昇格（分科会も生理学へと移動）。